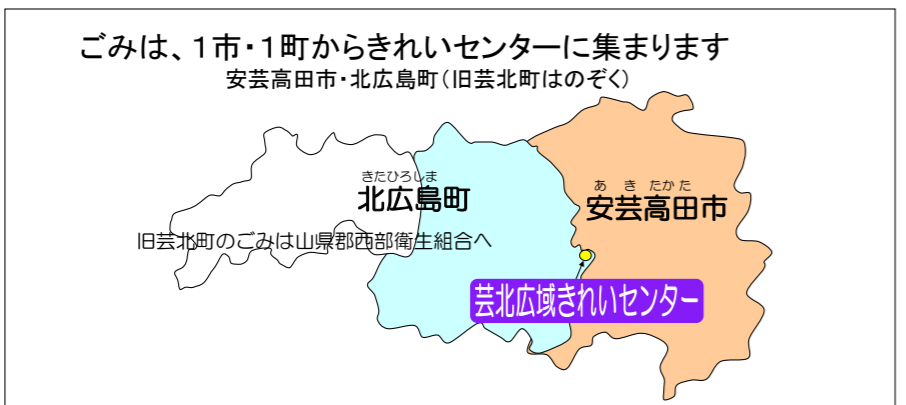


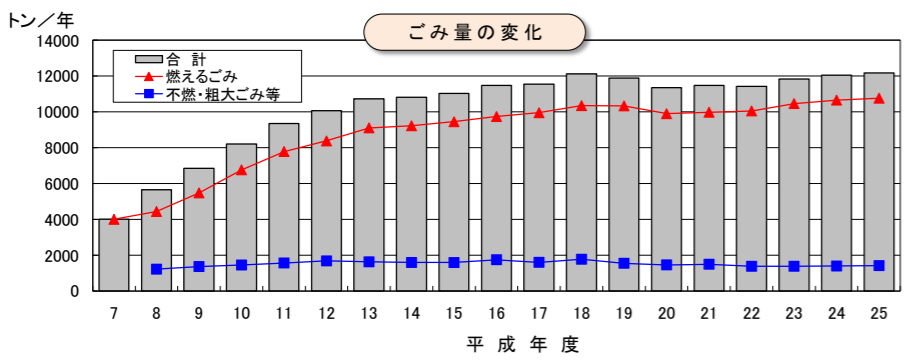
# しげん物のゆくえ

ごみは、分けて出せば、新しい物に生まれかわります！



きれいセンター管内の人口・世帯数とごみステーションの数  
(平成26年3月31日げんざい)

	人口	世帯数	ごみステーション数
安芸高田市	30,800	13,529	590
北広島町	17,209	7,407	335
計	48,009	20,936	925

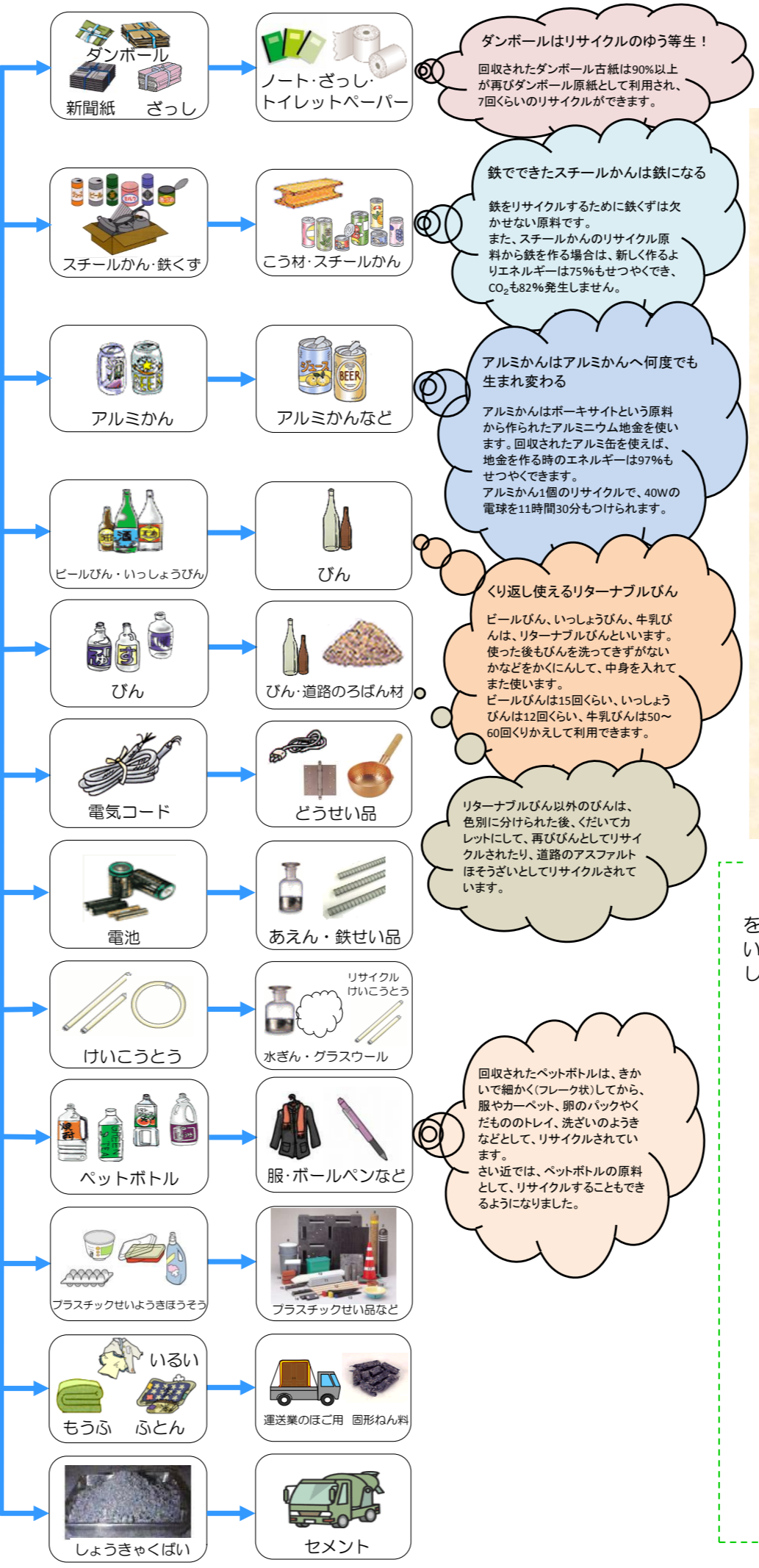
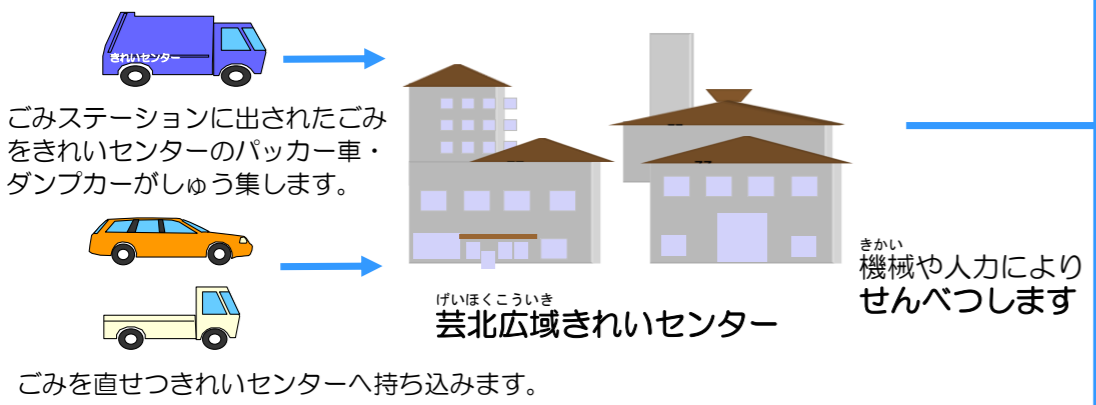


**きれいセンターで働く人**

- 機械の運転や管理をする人 8名
- ごみをしゅう集する人 14名
- ごみを分ける人 9名
- 夜間に焼却施設を運転する人 5名

**ごみをしゅう集する**

- パッカー車(しゅう集車) 6台
- ダンプカー 4台



ダンボールはリサイクルのゆう等生！  
回収されたダンボール古紙は90%以上が再びダンボール原紙として利用され、7回くらいのリサイクルができます。

鉄でできたスチールかんは鉄になる  
鉄をリサイクルするために鉄くずは欠かせない原料です。また、スチールかんのリサイクル原料から鉄を作る場合は、新しく作るよりエネルギーは75%もせつやくでき、CO<sub>2</sub>も82%発生しません。

アルミかんはアルミかんへ何度でも生まれ変わる  
アルミかんはボーキサイトという原料から作られたアルミニウム地金を使います。回収されたアルミ缶を使えば、地金を作る時のエネルギーは97%もせつやくできます。アルミかん1個のリサイクルで、40Wの電球を11時間30分もつけられます。

くり返し使えるリターナブルびん  
ビールびん、いっしょうびん、牛乳びんは、リターナブルびんといえます。使った後もびんを洗ってきずがないかなどをかくにんして、中身を入れてまた使います。ビールびんは15回くらい、いっしょうびんは12回くらい、牛乳びんは50~60回くらいして利用できます。

リターナブルびん以外のびんは、色別に分けられた後、くだいてカレットにして、再びびんとしてリサイクルされたり、道路のアスファルトほそうざいとしてリサイクルされています。

回収されたペットボトルは、きかいで細かく(フレーク状)してから、服やカーペット、卵のパックやくだものトレイ、洗ざいようきなどとして、リサイクルされています。さい近では、ペットボトルの原料として、リサイクルすることもできるようになりました。

## 芸北広域きれいセンター

**ごみ焼却処理施設** 平成7年3月かんせい

しよ理できる量 22トン/16時間×2ろ 計44トン/16時間

ごみは850℃~950℃の温度でもやします。

**粗大ごみ処理施設** 平成8年3月かんせい

しよ理できる量 14トン/5時間

しげんごみは機械や手を使ってかん・びんを分別します。そだごみは回転式はさいきでちょうど良い大きさにこわします。もえるそだごみ(家具・衣しよケースなど)は切ってもやします。

**ストックヤード施設** 平成14年1月かんせい

あつしゅくこんぼうき 圧縮梱包機でしよ理できる量 0.5トン/5時間  
しせつ面せき 200㎡

ペットボトル・プラスチックせいようきほうそうはかたまりにして、トラックに乗せやすくします。牛乳パックは手作業でかくにんしながらふくろへつめまます。

**焼却灰・集じん灰貯留搬出設備** 平成16年3月かんせい

ためられる量 焼却灰 30m<sup>3</sup>  
集じん灰 25m<sup>3</sup>

ごみをもやした後のはいは、山口県内のしげん化工場に運ばれて、セメントの原ざいりょうとなります。

**できることからやってみよう！**

私たちが住む地球かんきょうを守っていくためには、ごみをへらしてしげんを大切に、かんきょうへのえいきょうをできるだけ小さくする社会を作っていくなくてはなりません。このような社会を「循環型社会(じゅんかんがたしゃかい)」と言います。そのための合言葉が、「3つのR」です。

- Reduce (リデュース) ⇒ ごみをへらそう**  
たとえば…いらないものは買わない、もらわない。食べ残しをなくそう。物は大切に長く使おう。
- Reuse (リユース) ⇒ くり返し使おう**  
たとえば…長く使えるものを買おう。しゅう理して使おう。自分が使わなくなってもまだ使えるものは、人にゆずったりしよう。
- Recycle (リサイクル) ⇒ 再びしげんとして役立てよう**  
たとえば…ごみの分別をきちんとしよう。リサイクルされて作られたせい品を利用しよう。リサイクルしやすいせい品を買おう。